

# 支援プログラム



放課後等デイサービス

公表日：2026年2月1日

## SUPPORT PROGRAM

事業所名	児童発達支援 Sante たまプラーザ		
Sante の理念	子どもたちの「できた！」が未来への力に。		
支援方針	遊びを通じた発達支援を大切にし、未就学児の発達段階に応じたきめ細やかな支援を行います。個別対応と小集団活動をバランスよく組み合わせ、おさま一人ひとりのペースを尊重しながら、「できた！」という成功体験を積み重ねていきます。また、保護者の方と密に連携し、ご家庭での育児もサポートいたします。		
営業時間	平日（月～金） 10:00～18:00 祝日 10:00～18:00 学校休業日 10:00～18:00	サービス提供時間	平日（月～金） 14:00～17:30 祝日 10:00～14:00 学校休業日 10:00～14:00
送迎の有無	有り（美しが丘近郊）		
支援内容			
本人支援	健康・生活	子ども一人ひとりの生活リズムや体調を丁寧に把握し、安心して過ごせる環境を整えます。トイレトレーニング、手洗い・うがい、着替え、片付けなど、基本的な生活習慣を遊びの中で楽しく身につけられるよう支援します。また、食事場面では適切なマナーや食具の使い方も無理なく学べるよう配慮します。	
	運動・感覚	手指の巧緻性を高める活動（ビーズ通し、ひも結び、つまみ動作など）や、バランス感覚を養う遊び（平均台、ボール遊びなど）を室内で行います。また、片栗粉・水・粘土・感触マットなど感覚刺激を伴う活動を通じて、感覚統合を促進します。おさまの感覚特性に配慮した環境調整を行い、公園等の屋外活動も取り入れながら、身体の使い方を学びます。	
	認知・行動	絵カード・視覚支援カードを活用し、見通しを持った行動や物の理解を促します。色・形・大小などの概念、数の理解、因果関係などを、遊びの中で自然に学べるよう工夫します。また、パズル、制作活動、模倣遊びなどを通じて、集中力・記憶力・手順理解などの認知機能を育てます。	
	言語コミュニケーション	あいさつ・自己紹介・「お願い・断る」などの日常的なやりとりを、遊びやロールプレイの中で練習します。言葉での表現が難しいおさまには、絵カード・ジェスチャー・描画など代替的コミュニケーション手段も活用します。クッキングや集団制作など「会話が自然に生まれる活動」を通して、表現力と語彙の発達を促します。	
	人間関係社会性	「順番を待つ」「貸して・どうぞのやりとり」「お友だちと一緒に遊ぶ」など、対人関係の基礎を実体験から学びます。小集団での活動（体操、制作、音楽など）を通して、他者への関心や協調性を育てます。また、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れ、適切な社会的スキルの獲得を支援します。	
家族支援	契約時面談・定期面談（年2～3回）にて、ご家庭での様子を共有し課題を一緒に考えます ・ご家庭で取り組める支援方法を提案（トイレトレーニング、食事、生活リズム等） ・きょうだい児も一緒に楽しめる行事を企画 ・育児相談や保護者同士の交流の場を提供		
移行支援	・椅子に座る、話を聞く、指示に従うなど、就学に向けた基礎的なスキルの獲得 ・保育園・幼稚園との情報共有・連携 ・就学相談の同行支援や小学校との連絡調整 ・放課後等デイサービスなど他の福祉資源の情報提供		
地域支援 地域連携	・保育園・幼稚園・療育センター・相談支援専門員との連携 ・公園遊びや図書館訪問など、地域社会との関わりを増やす活動 ・地域イベントや施設見学の情報提供・同行支援		
職員の質の向上	・月1回の事業所内研修（テーマ例：自閉症スペクトラム理解、感覚統合、応用行動分析） ・外部研修への参加（自立支援協議会、市区主催の研修等） ・個別支援計画の定期的な見直しとケース会議の実施		
主な行事等	季節行事：お散歩、公園遊び、クッキング、制作活動、音楽活動、感覚遊び、避難訓練など 保護者参加型：家族参観日、個別懇談会、保護者勉強会（希望者のみ）		

# 支援プログラム



放課後等デイサービス

公表日：2026年2月1日

SUPPORT PROGRAM

事業所名	放課後等デイサービス Sante たまプラーザ		
Sante の理念	子どもたちの「できた！」が未来の力に。		
支援方針	SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通じて人と関わる力を育み、小規模集団療育でお友だちと一緒に成長する経験を重ねながら、個別対応で一人ひとりのペースやニーズに寄り添います。それぞれのお子さまに合わせた支援で、前向きな気持ちと確かな成長をサポートしていきます。		
営業時間	平日（月～金）10:00～18:00 祝日 10:00～18:00 学校休業日 10:00～18:00	サービス提供時間	平日（月～金）14:00～17:30 祝日 10:00～14:00 学校休業日 10:00～14:00
送迎の有無	有り（美しが丘近郊）		
支援内容			
本人支援	健康・生活	子ども一人ひとりの生活リズムや体調を把握し、安心して過ごせる安定した生活環境を整えることを基本とします。日々の活動を通して、身支度や整理整頓などの基本的な生活動作を自分で行う力を育み、心身の健康維持につなげます。無理のない運動と適切な休息を取り入れながら、成功体験を積み重ね、自信と主体性の形成を支援します。	
	運動・感覚	身体の使い方や感覚への気づきを促す活動を通して、体幹やバランス感覚、空間認知の向上を図ります。動作の切り替えや力加減を意識する関わり、リズムやタイミングに合わせた活動などを取り入れ、日常の中で無理なく運動要素に触れられるよう支援します。感覚特性に配慮した環境調整を行い、一人ひとりが安心して取り組める状態づくりを大切にします。	
	認知・行動	スケジュールボードや視覚支援カードを活用して、見通しを持った行動や選択行動の獲得を支援します。工作活動や SST などを通じて、集中力・順序立て・手順理解などの認知機能を育てます。ポジティブな声かけと ABA 的視点に基づき、適切な行動を強化し、生活に活かせる行動を定着させます。	
	言語コミュニケーション	あいさつ・自己紹介・「お願い・断る」などの日常的なやりとりを、遊びやロールプレイの中で練習します。言葉での表現が難しいお子さまには、絵カード・ジェスチャー・描画など代替的コミュニケーション手段も活用します。クッキングや集団制作など「会話が自然に生まれる活動」を通して、表現力と語彙の発達を促します。	
	人間関係社会性	「順番を待つ」「他者の気持ちを想像する」「譲り合う」など、対人スキルの基礎を実体験から学びます。小集団での活動（ゲーム、創作、運動など）を通して、仲間との関わりや協調性を養います。トラブル時には「どう伝える？」「どう解決する？」を共に考える関わりを大切にします。	
家族支援	利用前面談・定期面談（年2回）にて、家庭での様子を共有し課題を一緒に考える家庭で取り組める支援方法を提案（食事・生活リズム等）きょうだいも楽しめる行事参加や個別対応の相談受付		
移行支援	宿題や通学準備など生活スキルの定着を意識した支援他の福祉資源・学校との連携 社会資源（図書館・公園・スーパー等）との接続を意識した活動		
地域支援 地域連携	他の放課後等デイサービス・相談支援専門員との連携地域の小学校・支援学級との連絡調整、見学対応、公園活動や買い物支援など、地域との関わりを増やす活動地域イベントや施設見学の情報提供・同行支援		
職員の質の向上	月1回の事業所内研修（テーマ例：自閉症理解・感覚特性対応）外部研修参加（自立支援部会や市区での研修への参加）		
主な行事等	季節行事：お正月、節分、ひな祭り、お花見、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会社会体験：買い物体験、おでかけ、クッキング、避難訓練 保護者参加型：家族参観日、成果発表会（希望者のみ）		